

くまがわ・明日の川づくり報告会 VOL.4 6

開催地：芦北町告地区

平成 19 年 11 月 5 日（月）、芦北町告地区生涯学習センターにおいて、「くまがわ・明日の川づくり報告会」を実施しました。

同報告会には、約 20 名の方々にお集まり頂き、球磨川水系河川整備基本方針の内容や小委員会等での審議の状況についてご報告いたしました。

いただいたご意見等並びにご意見等への回答については下記のとおりです。

なお、報告会の時に回答した内容が不十分であったところについては補足しています。

参加者数※

町内	16名
町外	2名

※参加者数は記名者数

住民の方々から頂いた主なご意見・ご質問	ご意見・ご質問への回答
<p>【球磨川の治水対策について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漆口地区の嵩上げ工事の進捗状況について聞かせて欲しい。具体的に工事はいつ頃から入るのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・漆口地区については、平成 19 年 7 月から地元説明会を開催しており、事業内容や進め方等についてご説明させていただいている段階です。漆口地区は 3 年連続して浸水被害に見舞われており、治水対策の緊急性は十分認識していますが、いつ頃、工事に着手できるかは地元協議並びに予算措置次第であり、現段階ではご説明できない状況です。
<ul style="list-style-type: none"> ・洪水時のダムの放流に納得できないところがある。説明して欲しい。（洪水被害に対する）地元への救済策についても聞かせて欲しい。洪水時に規定どおりダムを放流したと言われるが、救済（嵩上げ）を後回しにしておいて、ダムを造って一番危険な時に放流している。ダム建設を先にやるのは順序が逆ではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・宅地嵩上げ等の治水対策ができるだけ早期に実施できるように支川管理者である県等とも調節しつつ努力していきたいと考えています。 市房ダム操作については、県のデータを見る限り適正な操作が行われていると考えていますが、一方で地域にはダムの操作に対するご懸念があることも認識しています。 ダムなどの具体の施設については、今後、河川整備計画を策定する際に検討していくこととなります。
<ul style="list-style-type: none"> ・鎌瀬地区も嵩上げしてもらいたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・治水対策が遅れていることにつきましては、大変申し訳なく思っています。一日でも早く対策ができるよう努力していきたいと考えています。
<ul style="list-style-type: none"> ・漆口地区では（治水事業について）地元説明会が 2 回ほどあったが、鎌瀬地区には来てもらえないのか。陳情すればよいのか。それとも、河川管理者が危険だと思えば来てもらえるのか。鎌瀬地区は県道から下は全て浸かっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・治水対策が遅れていることにつきましては、大変申し訳なく思っています。現在も球磨川中流部では、宅地かさ上げ等の治水対策を進めており、現在のところ、42 地区のうち 10 地区が完成し、6 地区で事業実施中です。家屋数で見れば事業中の箇所も含めると約 7 割の整備率となっています。しかしながら、鎌瀬地区も含め未対策の箇所もございますので、支川管理者である県等とも調整しつつ、できるだけ早期に対策を実施できるように努力していきたいと考えています。
<ul style="list-style-type: none"> ・大水のときに、荷物を上にあげてもらっていてみんなに迷惑をかけている。（水が）家に上がる 1m ぐらい低い水位の段階で、水を流してもらえないか（水位が上がらないうちに市房ダムの水を流しておいてもらえないか）。 	<p>【熊本県回答】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市房ダムの流域面積の割合は、人吉地点を 100%とした場合、14%しかございません。市房ダム下流の支川からの流入も多く、ご当地での市房ダムへの影響は少ないものと思われれます。

・球磨川の水位が上がらないうちに、市房ダムは早く放流しておいてもらいたい。

・ダムが出来てからの、異常な被災の状況（特にここ3年で4回被災）は、自然災害だけと思えない。やはり（ダムによる）洪水調節が出来ていないんじゃないかという不信感が出てきている。川辺川ダムの建設よりも、まず、漆口、鎌瀬地区の改修を急いで欲しい。一勝地の宮園地区は話があってから4年間で出来たと聞いている。何年後にできるとか青写真を示して欲しい。

・市房ダムについて、いつ放流したということを知らせて欲しい。

・漆川内川流域の住民は、水害・土砂災害で孤立してしまう。アーチ形で、JRを囲むような球泉洞にマッチするような橋を造って欲しい。地区の生命と財産を守り、町の観光にも活性化にもつながるのではないかと思う。

・（災害時の情報提供について、）年寄りばかりでインターネットなど誰も見ない。県が漆口橋の下に水位標を設置したが、水位がどこまで行くと危険である、という説明が無かった。設置した時点で説明すべき。

【熊本県回答】

・市房ダムの流域面積の割合は、人吉地点を100%とした場合、14%しかございません。市房ダム下流の支川からの流入も多く、ご当地での市房ダムへの影響は少ないものと思われま

す。事前に市房ダムからの放流を行えないかということですが、市房ダムの上流域のような小規模な範囲での気象予測が難しく、事前に放流することは難しい状況ですが、データを集めて検討しているところです。

・治水対策が遅れていることにつきましては、大変申し訳なく思っております。現在も球磨川中流部では、宅地かさ上げ等の治水対策を進めており、現在のところ、42地区のうち10地区が完成し、6地区では事業実施中です。家屋数で見れば事業中の箇所も含めると約7割の整備率となっております。しかしながら、漆口、鎌瀬地区のように未対策の箇所もございますので、支川管理者である県等とも調整しつつ、できるだけ早期に対策を実施できるよう努力していきたいと考えています。

【熊本県回答】

・当日は回答の機会がございませんでした。現在は、以下のとおり情報を伝えています。

市房ダムの放流に関する通知については、市房ダムから下流の人吉市までサイレン及び広報車による警報や放送を行って

います。また、球磨村、芦北町まで防災FAXにて市房ダム下流沿川の市町村へ情報を提供しています。電話での情報提供として自動応答のシステムを運用しており、ここに電話していただくと、直近の貯水位・流入量・放流量及び市房ダム上流の時間雨量を音声で聞くことができます。なお、データは10分単位で更新されています。また、携帯端末からも熊本県統合型防災情報システムに市房ダムの洪水調節情報をアップし、本年度からどなたでも閲覧できるようにしています。

・中流部では国道219号や県道が浸水し通行止めとなり多くの方が孤立する恐れがあることは承知しています。道路や橋の嵩上げなどのハード整備は、地形的に難しいところもあることから、例えば、河川水位と道路浸水との関係を調査し、これらの情報を道路管理者である県や市町村にお伝えすることで道路の浸水する前に何らかの警戒避難措置を講じるなど、ソフト対策の取り組みも進めていきたいと考えています。

【熊本県回答】

・インターネットも一つのやり方ではありますが、今後、更なる方法があれば検討したいと思っています。

【芦北地域振興局】

・量水標は、球磨川増水時の漆口地区住民の避難目安とするということで、地区から設置要望があり、役場、漆口区長と立ち会いをして平成19年度に県の芦北地域振興局で水位の目安として

<p>【球磨川の環境について】</p>	<p>設置したものです。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 2～3年前から川辺川の上流で山が崩れて白い濁りが発生し、長期間濁りが引かない。川辺川の濁水対策について何らかの措置をしたのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 近年の台風等による豪雨で山腹崩壊が発生して大量の土砂が河川内に流入し、川の濁りが発生しています。 濁りに関する情報は、川辺川ダム砂防事務所のHPに掲載したり、現地調査や勉強会等を行っているところですが、山腹崩壊に伴う河川内への土砂流入による濁水に対策については、河川管理者だけでなく、林野庁や熊本県等の関係機関が情報を共有し、連携して対策を進めていく必要があると考えています。
<p>【その他】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 報告会后に現地を確認し、測量を実施しました。ご指摘の箇所は民地であることから、今後どのような対応ができるか当事者の方及び芦北町と検討していきたいと考えています。

※ ご発言をそのまま掲載するのではなく、趣旨を変えない程度にまとめさせて頂いています。

※ 誹謗中傷するような発言については掲載しておりません。